

キャンプ砂防2026 in 六甲山系

2026
8/24~8/28

◆六甲砂防事務所の沿革

昭和13年7月5日、阪神地方を襲った豪雨は、無数の山崩れ・土石流を発生させ、阪神地方に莫大な被害を与えました。この災害を契機として、昭和13年9月に六甲砂防事務所が発足し、昭和14年4月から六甲山地において直轄砂防事業を実施しています。

昭和13年災害直後の街の様子



三宮駅周辺



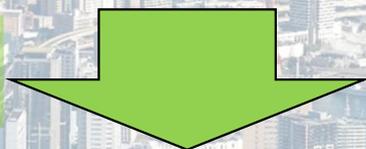
元町駅周辺

六甲砂防事務所のキャンプ砂防では、過去に発生した土砂災害や、土砂災害に対する対策として行っている六甲山地の砂防事業（都市砂防）について学んでいただきます。



コナラクン・アハマキちゃん
六甲山系グリーンベルト整備事業イメージキャラクター

このような土砂災害から町を守るため、六甲砂防事務所では砂防堰堤、斜面对策などのハード対策、森づくり活動などのソフト対策を行っています。



索道と呼ばれるロープウェイを使用し、工事箇所上空から工事資材を降ろす、急傾斜の六甲山系ならではの手法で工事を進めています。

女夫岩堰堤工事



祇園山斜面对策工事



森づくり活動(植樹および編柵工)



キャンプ砂防2026 in 六甲山系

2026
8/24~8/28

令和6年度実施時の内容

斜面对策工事現場視察
(祇園山地区)



グリーンベルト整備事業地視察
(渦森台地区)



砂防施設計画の打合せ見学



砂防施設配置計画実施箇所視察
(六甲ケーブル六甲山上駅)



砂防ボランティア協会による砂防講習
(地すべり資料館)



閉講式および修了証授与



参加学生の声(令和6年度参加者)

- ・行政の具体的な業務内容まで体験出来たことは貴重な経験になりました。
- ・インターンとは異なった視点で砂防事業について深く知ることができましたので、このような機会がもっと増えれば良いと思いました。